



令和 6 年度の推進会議の取組の方向性について

【協議事項】

令和 6 年 2 月
九州地方環境事務所 地域脱炭素創生室



九州・沖縄地方における地域脱炭素推進体制



2021年12月22日設置

九州・沖縄地域脱炭素推進会議

- 沖縄総合事務局長
- 九州総合通信局長
- 沖縄総合通信事務所長
- 九州財務局長
- 福岡財務支局長
- 九州農政局長
- 九州森林管理局長
- 九州経済産業局長
- 九州地方整備局長
- 九州運輸局長
- 九州地方環境事務所長



推進会議の様子(2021年12月22日)



<検討・協議・実施事項>

- (1) 各府省の関連予算等の支援ツールや支援実績等に係る情報共有及び地域への情報発信に関すること
- (2) 脱炭素先行地域をはじめとした地域脱炭素の案件形成や複合的・包括的支援に関すること
- (3) その他、推進会議の運営を含む必要な事項に関すること



幹事会（課長級）

推進会議で決定された方針に基づき、
実務的な連携内容・方法を検討・協議・実施

<開催実績> 第1回推進会議（2021年12月22日）、第2回推進会議（2023年1月18日）
幹事会（2022年以降、年に2～3回開催）

- 第2回九州・沖縄地域脱炭素推進会議（2023年1月18日開催）において、「今後の取組方針」及び幹事会への委任について承認。

- 「今後の取組方針」

- ① 地域脱炭素案件形成における支分部局連携の強化

- ② 支分部局間の個別連携の強化

- ③ 情報共有・発信機能の強化

- 上記方針に基づく具体的取組の実施について、**幹事会に委任**する



（取組の現状）

- 上記方針に基づき、令和5年度は各地方支分部局で連携した脱炭素先行地域の案件形成支援等を実施。

- ① 施策間連携を含む案件について、自治体等からの相談段階や選定プロセスにおいて、関係支分部局からの助言や情報共有等を実施。結果、第4回先行地域選定において、施策間連携の案件として福岡県うきは市の農業(フルーツ)×観光×脱炭素、宮古島市の地域マイクログリッド×脱炭素に関する提案が採択。（資料1参照）

- ②③ 幹事会の取組として、マッチングイベントや合同視察会等を協力して開催。（資料2参照）

(令和6年度の取組の方向性)

■ 今後は、

脱炭素先行地域の創出に加え、

- ・ 既選定の脱炭素先行地域における取組実践
- ・ 脱炭素先行地域以外での脱炭素施策の横展開

等を支援していくことが重要であることから、「今後の取組方針」にその旨追記した上、幹事会でも重点的に取り組んでいきたい。

(協議事項)

■ 「今後の取組方針」を以下のとおり改定し、今後幹事会においてこの方針に基づき具体的取組を実施していくことについて協議したい。

「今後の取組方針」の改定案

- ① 地域脱炭素の案件形成及び取組実践、地域内への横展開における支分部局連携の強化
- ② 支分部局間の個別連携の強化
- ③ 情報共有・発信機能の強化

※赤字が追記箇所。